

## まえがき

千葉・地図ラーの会 小川順一

僕は東京都千代田区出身。おう、神田の生まれよ。三代以上続いているからいわゆる江戸っ子ってやつだ。東京で生まれ育って、東京の会社に勤めて、結婚を機に千葉県市川市に移り住み、それから長女が小学校に入るタイミングで千葉市民となり今に至っている。

その間に千葉市の会社に転職したため、今では名実ともに生粋の千葉市民となっている。でも、千葉市が地元だという感覚になったのは、何を隠そうまだここ数年のことだ。

地元意識が薄かったのは近くに友達がいないから。ずっと東京拠点の生活だったから、友達ができるわけがない。だったら千葉で友達を作る？いやいや、ある程度年齢を重ねるとそんなに都合よく友達ができるわけがない。

千葉・地図ラーの会を立ち上げた 2016 年の時点でも、実はそれほど千葉市に詳しいというわけでもなく、千葉市を地元に行っている人たちから見ると、まったくのド素人と言っても過言ではない状態だった。土地勘がないというのは悲しいもので、クルマで迷子になったことも多いし、ちょっと迷うと脱出不可能になってしまう。

ところが千葉・地図ラーの会の立ち上げから 1 年半を過ぎ、今では千葉市の素敵な場所について、大勢の人の前で堂々と語るようになった。まさに隔世の感がある。やはり人間辛抱だ。いや、ちょっと違うか…。

ところで千葉市の魅力は何かと言うと、一般的には繁華街を抜けるとすぐに自然豊かな田園風景が現れるところ。熊谷市長がそう言っていた。けして都会ではないけど、けして田舎でもない。その両方を持ち合わせたところが千葉市の魅力ということになっている。

ではそれが観光資源になっているかという、それはそうでもない。

都会的な場所と言ってすぐに思い浮かぶのは、やはりまずは千葉駅。ここが間違いなく千葉市の中心地だ。駅周辺は千葉三越や千葉パルコが閉店するという悲報があったものの、最近では駅ビルがリニューアルオープンして、大いに賑わっている。東急ハンズやビームスの出店は諸々の事情はあるんだろうけど、千葉市にとってはあのパルコの開店以来の快挙と言える。

(注) 千葉駅とパルコは厳密には同じ商圈ではない。でも、東京から見るとそんな違いはどうでもいいことだ。

でも幕張メッセはどうでもよくない。有明にビッグサイトができるまでは首都圏でもっとも大規模な施設だった。モーターショーや GLAY の 20 万人ライブなど、一世を風靡したものだ。今ではオタク系のイベントが目立つものの、千葉市内で最も大勢の人間の群れが見物できる場所であることは間違いない。

自然豊かな場所といえば、まずは加曾利貝塚になるのかな。2017 年に国の特別史跡に指定された縄文時代の遺跡で、日本最大級の規模を誇っている。

あとは…、泉自然公園くらいか。市の中心地から少し行くと現れるという距離感なので、この自然豊かな公園は魅力の1つとして数えられてもいいはずだ。

ただ、この2ヵ所はいつも空いているんだな…。実数はわからないけど、それほど集客しているようには見えない。

だったら、千葉市は魅力がないのかというと、それはそんなことはない。楽しい場所はたくさんあるのに、それをみんなが知らないだけなのだ。

さあ、自虐と自慢が混じった前置きはこのくらいにして、我が地元である千葉市の魅力を見て行くとしよう。実際に見てくれるのは千葉・地図ラーの会副会長「ツッコマー・ゆっきー」。街を歩いていると、ちょっとしたことでツッコミを入れずにはいられない性質なので、まさに適任中の適任。我が街の魅力について、マントル対流をせき止めるまで深く深く掘り下げてもらおうとしよう。